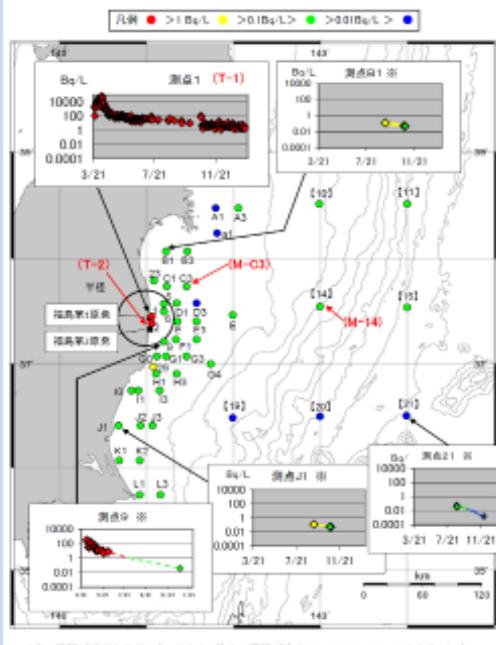


## 海水

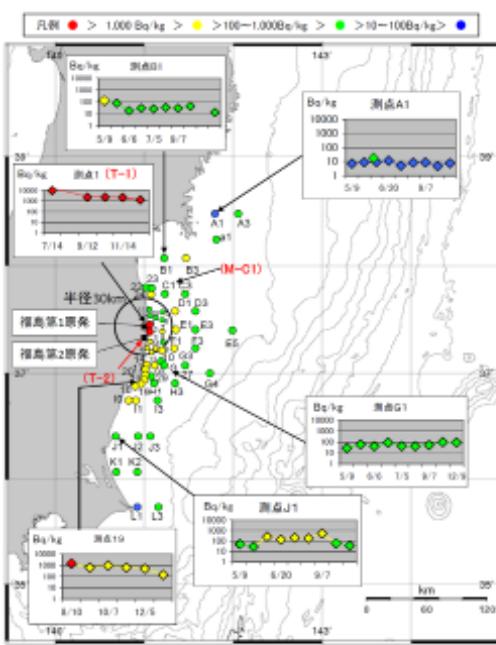
海域モニタリング結果(平成23年10月13日～12月1日)(海水中のCs-137)  
Readings of Sea Area Monitoring (Oct13-Dec01, 2011) Cs-137



Bq/L : ベクレル/リットル Bq/kg : ベクレル/キログラム

## 海底土

海域モニタリング結果(平成23年12月5日～1月13日)(海底土中のCs-137)  
Readings of Sea Area Monitoring (Dec 5-Jan13, 2011) Cs-137



第3回モニタリング調整会議（2012年1月24日開催）配付資料より作成

海水及び海底土の放射性セシウム（セシウム137）のモニタリングを、2011年10月以降、文部科学省（原子力規制庁設置まで）、原子力規制庁、水産庁、海上保安庁、環境省、福島県、東京電力（株）が連携して行っています。放射性セシウムの分析のみならず、放出口付近（採取ポイント:T-1, T-2）の試料に関しては、放射性ヨウ素（海水のみ）、放射性ストロンチウム、プルトニウム、トリチウム（海水のみ）についても分析されています。

図は事故当初の海域モニタリング結果です。

本資料への収録日：2013年3月31日

改訂日：2019年3月31日